

修猷館出前授業(2015.10.31)の事前課題

「想像力+創造力を鍛えよう！」

●● ミニ・ドローン de グループ・パフォーマンスに挑戦してみよう ●●

薄 俊也

「想像力+創造力を鍛えよう！」シリーズの一環として、今回は「ドローンdeパフォーマンス・コンテスト」に参加してもらいます。コンテスト会場は体育館。コンテストのルールは、以下です。

・5人で1チームとし、飛ばすドローンは3機以上とする。

(例: 3機飛ばす場合、3人がドローンの操作、1人が進行役、1人がBGM担当)

(例: 4機飛ばす場合、4人がドローンの操作、1人が進行役兼BGM担当)

(例: 5機飛ばす場合、5人がドローンの操作、進行役なし、BGM担当は私)

・ドローンは床に敷かれた模造紙から飛び立ち、パフォーマンス終了時には模造紙上に戻っていること。

・ドローンは1回以上飛び上がること。

・パフォーマンス時間は30秒以内とする。

・BGMは自由(なしでもOK)

10月31日(土)当日は、ドローンの解説(5分間)後、各班代表者によるジャンケンでコンテストの出場順番を決め、**班ごとに分かれて各自ドローンを飛ばす練習に入ります。(5分間)**

******* ミニ・ドローンは、約30分間の充電で、約5分間飛ばすことができます *******

練習後、**飛ばしたドローンを充電器に接続し**、各班で以下のことを協議します。(20分間)

・飛ばすドローンの数(3機、4機または5機)

・BGMやドローンの装着物等について(各自事前課題のアイデアを班員に伝える)

・各ドローンの動きについて

班の方針に従って、ドローンの緑色のアタッチメントに事前課題で用意してきたものや新たにその場で作ったものを取り付けます。(10分間)

BGM等に合わせて、ドローンを飛ばす練習をします。(5分間)

飛ばしたドローンを充電器に接続後、コンテストに向けイメージ・トレーニングをします。(20分間)

充電時間を利用して、配布資料の解説をします。(10分間)

コンテストは最初に決めた順番で、パフォーマンスをします。(5分間)

コンテストの採点方法

・コンテスト終了後、自分の班以外のパフォーマンスで、一番良かった班に挙手し、その合計に、パフォーマンス終了時の模造紙上のドローンの数を加算し、優勝班を決めます。

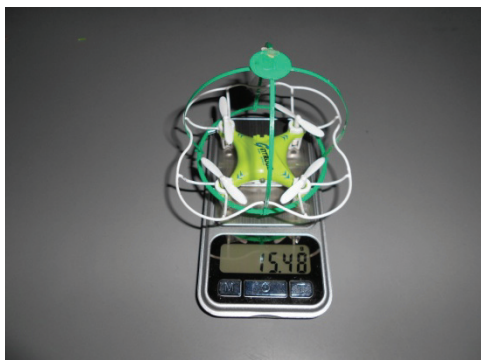
最後に、総評と皆さんからの質問を受けます。(5分間)

以上が当日に行う内容です。BGMやドローンの装着物等についての事前課題は次ページです。

・BGM(30秒間)は、eラーニング「想像力+創造力を鍛えよう!」を参照し、使用したい曲の番号を下の欄に記載してください。(http://www.geocities.jp/shunya_susuki/shusshjp/2015/BGM.htm) 当日は、用意されたノートPCから再生できます。なお、スマホで自分の好きな曲を30秒ぐらいにして使用してもOKです。

(記載例 J-01、C-05、・・・など)

・ドローンの装着物等については別紙に思いついたアイデアを描いて、それをハサミやカッターで切り取って当日持参してください。たくさんあると、班の意見調整のときに便利です。



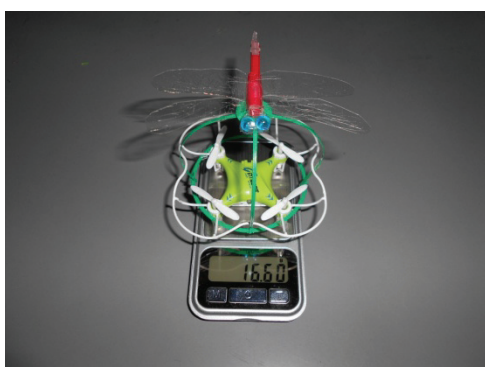
当日使用するドローン(左の写真)の大きさは、縦・横で8cm×8cm(白いプロペラガード)、高さは7cm(緑色の円形パーツ)です。
重さは15.48gです。



紙製コスモスを緑色の円形パーツに装着した場合、総重量は15.68gになります。

修猷館の体育館で、安定したフライトを確認。

参照: <http://www.geocities.jp/shusshjp/2015/cosmos.htm>



トンボを装着した場合、総重量は 16.60gになります。

羽(透明な薄いプラスチック)、胴(ストロー)、目(球形プラスチック)

自宅で飛ばした感想は、上記コスモスに比べ頭部が重い感じがした。

参照: <http://www.geocities.jp/shusshjp/2015/dragonfly.htm>



銀紙製クラゲを装着した場合、総重量は 15.60gになります。

なお、緑色の円形パーツ 0.9gを外しています。

ときどき、足がプロペラに絡みつき、落下した。下部に装着する場合は要注意!

参照: <http://www.geocities.jp/shusshjp/2015/JF.htm>

私は、下図のコスモスを切り取って使いました。皆さんも、ミニ・ドローンで飛ばしてみたいイラストを思い浮かべ、このコスモスぐらいの大きさに、このページの余白に描いてください。それをハサミやカッターで切り取り、裏表を色鉛筆などで仕上げてください。その他、軽い材質で作られても結構です。

当日は、忘れずに持参してください。

それから、作品の修正や修繕なども想定し、ハサミやカッター、色鉛筆、両面テープなど必要と考えられる材料や道具もご持参ください。

